

東北大学とロンドン大学との連携推進の合意文書締結

東北大学は世界最高峰のロンドン大学と
レジリエントな世界創造を目指します

—地球規模課題に対する解決や地域社会・国際社会への貢献に期待—



- THE2022世界版ランキング
総合 国内3位、国際性 国内2位、研究 国内3位
- THE世界大学ランキング日本版で3年連続 1位
- 我が国 3番目の国立大学として創立
- 3つの理念「研究第一」「門戸開放」「実学尊重」
- 我が国で初めて女子学生が入学

- THE2022世界版ランキング
総合18位、国内4位、世界的評価25位
- ロンドン大学連合（英国18大学）の中でTHE1位
（18大学中THEランキングで東大より上位が5大学）
- 人種、宗教、政治的信条に関わりなく広く学問への門戸を開放
- 英国で初めて女性に学位を授与

合意文書締結署名式出席者



東北大学
理事・副学長
(総務・財務・国際展開)
植木 俊哉



ロンドン大学 (UCL)
副学長
(研究・改革・国際展開)
ゲラント・リース

概要

- 東北大学は2023年3月15日、英国のロンドン大学（ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン）と学生・若手研究者の国際移動プログラム、共同教育、共同研究の更なる連携促進を掲げる合意文書を締結します。
- 予定される具体的な取組み例としては、国内外の研究機関や企業とのイノベーション共創ハブの創出等を展開する「Fサイエンスパーク構想（※）」において、本学とロンドン大学は、災害科学分野において福島をフィールドとした国際共同研究センターの設立を予定しています。

【※参考】「Fサイエンスパーク構想」

○目的

福島県との包括連携協定のもと、本学が青葉山新キャンパスなどで進めている「サイエンスパーク構想」を福島県浜通り地域へ横展開（Fサイエンスパーク構想）することで、復興からの飛躍を目指す福島において、日本の社会課題のみならず、世界の社会課題の解決に繋がる取組みを加速させる。

○効果・期待

企業との共創プラットフォーム、地域と国内外のイノベーション共創ハブ等が創出され、福島浜通りの創造的復興、活性化、雇用創出、にぎわい創出が期待される。

東北大学サイエンスパーク構想 ～産学官が集う社会課題解決型キャンパスに共創の場を整備～

キャンパス内外

大学内外が、世界・日本・地域のイノベーション共創ハブ

産学官が結集

多様なステークホルダーとの共創エコシステム

社会価値共創の場

資金と人材が循環する共創プラットフォーム